

企業研究

東京電力株式会社 (TEPCOひかり)

KDDIとの統合により生活密着型サービスを拡充

回線速度の優位性で生活必需品を訴求してきたTEPCOひかり。年内に予定されているKDDIとの統合サービス開始やPLC（電力線通信サービス）の規制緩和により、生活に密着したブランドスラムへ向けて加速する。

エリア拡大は2005年度で一段落

2005年度は、目標であった人口カバー率1,000万を達成し、契約者数は28万となった。首都圏でのサービス展開に加え、地元の自治体やNPOらと共同で進めているスポット展開も数十箇所まで拡大している。

もともとTEPCOひかりは、低下する東京電力の電気料収入を補完する付帯事業として開始された。そのため、ある程度の需要が見込まれる地域でのサービスが事業展開の前提であった。その点では、サービスエリアの拡大は一段落といったところである。

コンテンツサイト「casTY」が好調

ネットワーク上での双方向コミュニティの場として吉本興業と共同で立ち上げた「casTY」は、ユーザーのニーズにマッチしたコンテンツ提供に成功している。2006年3月渋谷に誕生した「ヨシモト∞（無限大）ホール」からの

高品質なライブ配信は、お笑いブームとうまくシンクロし、予想を上回るアクセスを記録することもあるという。サイト開始から4年を経過してノウハウも確実に蓄積され、今後はさらにB2Bによるコンテンツ展開が見られそうだ。

ユーザーの期待は家電との連動

ユーザーの100M占有という速度・品質に対する満足度は当然ながら高いが、加えて、東京電力のブランド力から「将来のサービスの広がり」に対する期待も大きいという。家事や仕事、趣味、セキュリティ、健康など、ありとあらゆる生活関連機器がTEPCOひかりでつながるという訴求が、ユーザーに十分届いているようだ。

その声に応えるべく、たとえばすでに必需品と言えるようになってきた“セキュリティ”も、ディベロッパーと組んでセキュリティマンションを光ファイバーで構築するなど、FTTHを「生活に密着した必需品」として提案していくことも視野に入っている。

東京電力の電力サービスとTEPCOひかりの回線サービスをひとくくりで見ているユーザーは多い。PLCが昨年度で技術的な目途がある程度立ってき

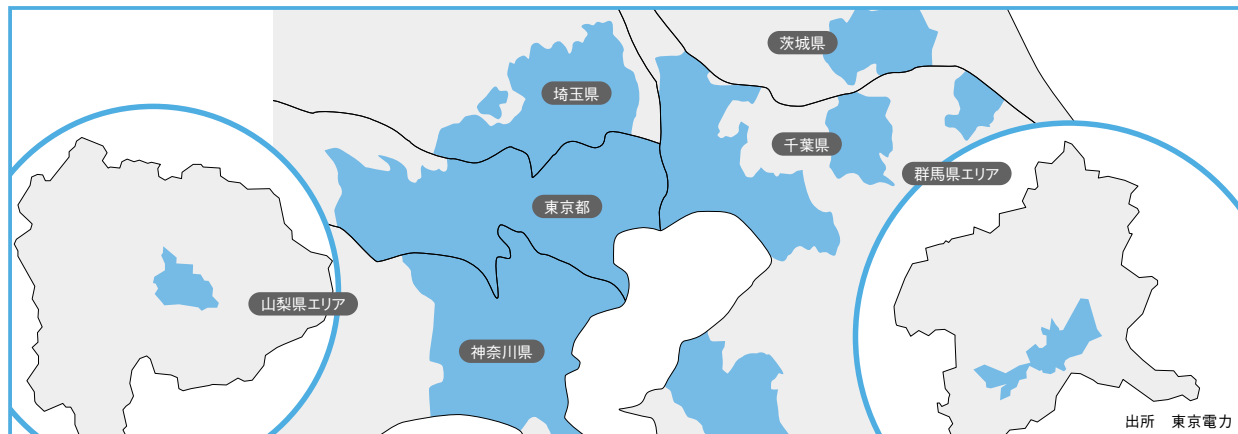
れていることから、まずはPLC市場の拡大に向けた取り組みに乗り出すものと見られる。

「ひかりone」に注目

これまで0AB～Jでのひかり電話サービスを提供できるプロバイダーはDTIの1社に限られていたが、KDDIとの総合サービスで対応プロバイダーが増える。これで、高速かつ安定した光ファイバー接続を最優先とする従来の顧客層に加え、「電話とセットでお得」という価格面でのメリットを望む層へもアプローチできることになり、既存エリア内で新たな市場を確立できる。さらに、「ひかりone」ではFMCにも期待がかかる。まずは料金などのバンドル化から始まり、将来的にはPLC対応家電を携帯電話でリモート制御するなどの構想もあるだろう。そうなれば、FTTH事業がauという携帯電話事業に包含されていく可能性も考えられる。これまでの東京電力ブランドとして獲得した顧客、そしてこれから獲得していく顧客の両方にどういったブランドスラムを提供するか、新サービスの展開が注目される。

(取材・文 柏木 由美子)

■ 図1 サービスエリア (2006年2月1日現在)





[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp